

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	認知症高齢者支援の推進				所管	福祉部 介護予防・地域支援課			
	行政計画	事業NO.	173	計画事業名	認知症高齢者支援の推進				
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小 柱] (4) 高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり [施策] ③医療・介護連携の推進				事業の開始・終了年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区認知症高齢者専門相談事業実施要綱 等				[事業開始]	平成18年度
	事業対象	認知症高齢者やその介護者及び一般区民							[終了予定]
事業目的	認知症に関する知識の普及啓発、認知症高齢者を介護する家庭に対する支援などを一体的に推進し、認知症になっても安心して生活できる地域を目指す。								
事業内容	①認知症高齢者専門相談(月2回 予約制): 精神科医師による個別相談 ②介護こころのケア相談(月2回 予約制): 臨床心理士による家族向け個別相談 ③認知症講演会(年4回) ④認知症サポーター養成講座(随時) ⑤認知症家族会の支援 ⑥認知症高齢者を介護する家族のためのサロン ⑦認知症高齢者声かけ訓練(年1回) ⑧認知症コーディネーターとアウトリーチチームとの協働による早期発見・早期診断推進事業								
委託の有無	一部委託	委託内容	地域包括支援センターによる認知症高齢者を介護する方のためのサロンの開催、認知症サポーター養成講座の実施						
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度		
	活動指標	認知症サポーター養成講座実施回数	回	40	54	64	43		
		セミナー・サロン開催回数	回	11	14	11	11		
	成果指標	認知症サポーター養成人数	人	1,000	1,031	1,307	2,436		
		セミナー・サロン参加者数	人	300	412	324	227		
	決算額	(単位: 千円)			1,420	5,627	5,413		
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			10,863	16,862	12,651		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			162	476	207		
		(単位: 千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			622	588	576		
		総経費			11,647	17,926	13,434		
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
	(単位: 千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			711	4,769	2,903			
	一般財源(区負担額)			10,936	13,157	10,531			
前回評価から改善した事項	平成26年度から認知症コーディネーターを配置し、認知症疾患医療センターのアウトリーチチームと協働して認知症の疑いのある高齢者を把握・訪問する事業を開始し、認知症の早期発見・診断・対応のシステムを構築した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	国の新オレンジプラン(H27.1)では、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すことが打ち出された。区としても、認知症の普及・啓発や家族等介護者支援、早期に医療・介護等の提供される仕組みづくりをさらに進める必要がある。						
	効率性	3	認知症の講演会に認知症サポーター養成講座を取り入れたり、高齢者虐待防止事業と共同開催することにより、限られた回数の中でより多くの方に認知症について理解して頂けるよう効率的な運営を行っている。						
	手段の適切性	3	専門家の講演会等による普及啓発活動、精神科医や臨床心理士による予約制の個別相談は適切な手段であるとする。今後は、認知症サポーターとなった方には、関連事業をお知らせしたり、サポーター養成講座や認知症カフェのボランティア参加を呼びかけ、地域で支えるネットワークづくりにつなげていく。						
目的達成度	3	一般区民等が参加する講演会や認知症サポーター養成講座には一定の参加がみられ、認知症への理解は徐々に浸透してきていると思われる。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性				
高齢者人口の増加、また独居・高齢者のみ世帯の増加により、見守りが必要な認知症高齢者数も増加することはほぼ確実である。認知症になっても地域で安心して暮らし続けるためには、早期対応を行う初期集中支援チームの立ち上げや、居場所づくりとなる認知症カフェの開催等、より一層本人やその家族への支援、また地域で支える体制づくりが必要である。					拡大		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		